

11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。
 <区分>①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(区分) ①当初の計画以上に進展している。
(理由) 大腸菌全予測遺伝子約 4000 の 20 塩基の bar code を導入した新規欠失株候補群からの選別を終え、全ての bar code 配列の決定を行ない、新規ライブラリーとして並べ替えを行った。混合競合培養を可能にするため、全ての株を独立に一晩培養を行い、等量を混合した培養液の作製を行った。この新規欠失株は新たなリソースとしても広く公開を行いたい。

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

Bar code 新規大腸菌一遺伝子欠失株ライブラリーの完成と bar code を利用した、これまで不可能であった長期定常期における各欠失株の生育変動パターン解析を行うことが可能であることを示すことができた。今後は、当初の目標通り、長期定常期における各遺伝子の細胞内機能ネットワークの解明を進める。
--

13. 研究発表（平成 23 年度の研究成果）

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

〔雑誌論文〕 計 (2) 件 うち査読付論文 計 (2) 件

著者名	論文標題					
Murata, M et al.	Novel pathway directed by sigmaE to cause cell lysis in Escherichia coli.					
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁	
Genes to Cells	有り	17	2	0	1 2	234-247
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)						
10.1111/j.1365-2443.2012.01585.x						

著者名	論文標題					
Yamamotoya, T. et al.	Glucogen is the primary source of glucose during the lag phase of E. coli proliferation.					
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁	
Biochimica et Biophysica Acta	有り	In press	2	0	1 2	In press
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)						
-						

著者名	論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)					

【学会発表】計（ 2 ）件 うち招待講演 計（ 2 ）件

発表者名	発表標題		
Mori, H	Novel concept of minimum genome cell for fermentation strain.		
学会等名	発表年月日	発表場所	
IUMS Sapporo	2011年9月8日	札幌市	

発表者名	発表標題		
森 浩禎	バクテリア接合伝達のゲノム操作への可能性		
学会等名	発表年月日	発表場所	
農芸化学会シンポジウム	2012年3月25日	京都女子大学	

【図書】計（ 0 ）件

著者名	出版社		
該当なし			
書名	発行年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

【出願】計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
該当なし					

【取得】計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
該当なし					
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

http://ecoli.naist.jp/Lab/joomla/
